

2. 電照・彼岸出し作型に適する夏秋小ギク品種（技術）			
[要約]			
<u>夏秋小ギク品種</u> のうち、 <u>のぞみ</u> 、 <u>つばさ</u> 、 <u>きらり</u> 及び <u>わかさ</u> の 4 品種は、 <u>電照</u> によって <u>彼岸出し</u> に利用できる。			
研究室名	野菜・花研究室	連絡先	0869-55-0277

[背景・ねらい]

電照による開花抑制効果は、夏秋小ギク品種間では大きく異なる。このため、電照栽培において、彼岸出し適期に開花し、切り花品質の高い品種を選定する。

[成果の内容・特徴]

1. 定植時から 7 月 25 日まで電照を行った場合、のぞみ、くれない、つばさ及びきらりは、平均開花日が 9 月 15～19 日になり、彼岸出しに適した。わかさは平均開花日が 9 月 23 日になり、彼岸出しにはやや遅かった（表 1）。
2. 電照栽培において、くれないは 7 割以上の個体で頂花がブラインドしたが、その他の品種ではブラインドの発生がほとんどなかった（表 1）。
3. くれない以外の品種の電照栽培における花房の形状を見ると、のぞみ、つばさ及びわかさは無電照の場合と多少異なったが、著しく頂花の位置が低くなる個体の増加は認められなかった。（図 2、図 3、図 4）。一方、きらりでは電照の有無による大きな差はなかった。

以上の結果、夏秋小ギク品種のうち、のぞみ、つばさ及びきらりが定植日から 7 月 25 日頃までの電照によって、わかさは電照打ち切りを 7 月 20 日頃にすることによって、彼岸出しに利用できる。

[成果の活用面・留意点]

1. 栽培場所や栽培年次によっては、開花日や切り花品質は多少変わると考えられる。
2. 挿し芽には老化した挿し穂の使用を避け、挿し芽期間中も電照を行うのが望ましい。

[具体的データ]

表 1 電照の有無と夏秋小ギクの開花日及び切り花品質

品種	電照の有無	平均開花日 (月日)	同左 標準 偏差 (日)	切り 花長 (cm)	茎長 (cm)	側枝 数	切花 重 (g)	頂花ブ ラインド 率 (%)
のぞみ	有	9/15	1.5	107	95	18	96	0
	無	8/24	10.8	57	47	4	45	0
くれない	有	9/16	1.7	85	51	6	79	78
	無	8/21	4.9	50	34	5	47	3
つばさ	有	9/17	2.1	91	85	20	87	0
	無	9/4	4.1	61	49	8	65	0
きらり	有	9/19	0.8	105	99	24	105	4
	無	8/21	5.0	62	55	6	49	0
わかさ	有	9/23	2.0	104	98	18	73	0
	無	9/13	5.4	83	63	9	90	53

注) 挿し芽：5月7日、定植：5月22日、摘心：5月31日

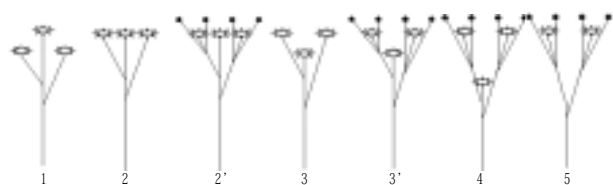


図1 花房の形状の分類

注：1～3' は出荷上問題なし。

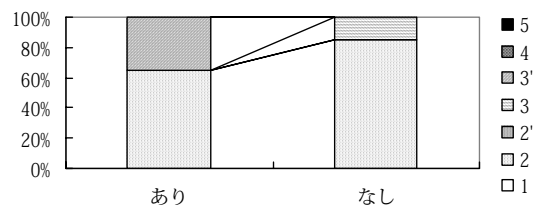


図2 電照の有無と'のぞみ'の花房の形状

注：凡例；花房の形状分類は図1参照。
以下、図3、4も同じ。

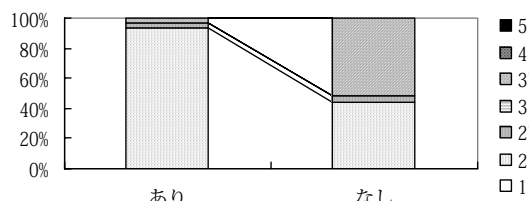


図3 電照の有無と'つばさ'の花房の形状

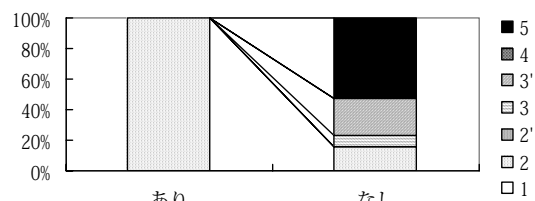


図4 電照の有無と'わかさ'の花房の形状

[その他]

試験研究課題・事業名：盆・彼岸ピッタリ出荷による高付加価値小ギク生産のための精密開花調節法の確立・夏秋小ギクの電照栽培実証

予算区分：県単

研究期間：平成11～14年度

関連情報等：平成12年度試験研究主要成果「彼岸出し作型における小ギク品種の電照による開花抑制効果」